



まちの話題をお届けします！

しこすゅ〜通信



11/12

第 127 回ふれあい大学講座 「加藤登紀子トーク&ライブ」



暁雨館で開催され、トークの中では、ご自身の歌が作られた当時の想いなどを優しい口調で語りかけました。また、ライブでは「百万本のバラ」などの代表曲をギターの弾き語りですっきりと歌い上げ、来場者は温かく慈しみ深い歌声に酔いしれていました。

11/20・21

第 17 回四国中央市産業祭& 第 24 回 JA うまグリーンフェスタ



伊予三島運動公園体育館のメインアリーナには、市内で採れた形の良い里芋や書道パフォーマンス甲子園の作品などが展示され、18日に完成した巨大な「ティッシュ・タワー」が来場者を迎えました。また、ジャジャうま広場では、地元農作物応援フェアが行われました。

11/21

みなとウォーキング& RORO 船見学



産業祭の一環として開催され、ガイドのもと、港記念公園を出発し、令和3年4月に設置されたガントリークレーンや、国内最大級のRORO船、約7,000坪の床面積を誇る中央物流センターなど、三島川之江港内の施設を巡るルート約2.5kmを見学しながら歩きました。

11/23

戦没者追悼式・公務殉職者追悼式



縮小開催により遺族代表者と関係者が参列した式典では、篠原市長が「かけがえのないふるさとを戦争のない未来へと引き継ぐことが我々に課せられた使命である」と式辞を述べ、参列者全員が英霊の冥福を祈り献花を行い、恒久平和への誓いを新たにしました。

11/27

「愛・野球博」マイナビオールスターゲーム 2022 啓発事業 親子わくわく野球体験教室



伊予三島運動公園野球場で開催され、4歳から小学3年生までの親子54組が参加しました。イベントでは、愛媛マングリンパイレーツの選手がお手本を見せながら、キャッチボール、バッティング練習などが行われ、参加者は親子の交流を深めながら汗を流していました。

11/28

2021 四国中央市人権のつどい



福祉会館で開催され、一般社団法人山口県人権啓発センターの川口泰司事務局長が『寝た子』はネットでは起こされる～部落差別は、今～と題して講演したほか、県小学生人権メッセージコンテスト、全国中学生人権作文コンテストの受賞者が表彰されました。



11/30

令和3年度「こども音楽コンクール」 西日本優秀校発表音楽会出場



松柏小学校金管バンドの6年生16名が市役所を訪れ、12/26（日）に大阪府の池田市民文化会館（アゼリアホール）で開催される令和3年度「こども音楽コンクール西日本優秀校発表音楽会」に、愛媛県代表として出場することを市長に報告しました。

12/3

日本たばこ産業株式会社が パックごはんを寄贈



日本たばこ産業株式会社愛媛支店（大塩修一支店長）から、地域のニーズに応じた緊急支援活動として、生活困窮者支援のため、グループ会社であるテーブルマーク社の「パックごはん 800食」が寄贈されました。パックごはんは、市内の子ども食堂などで利用されます。

12/8

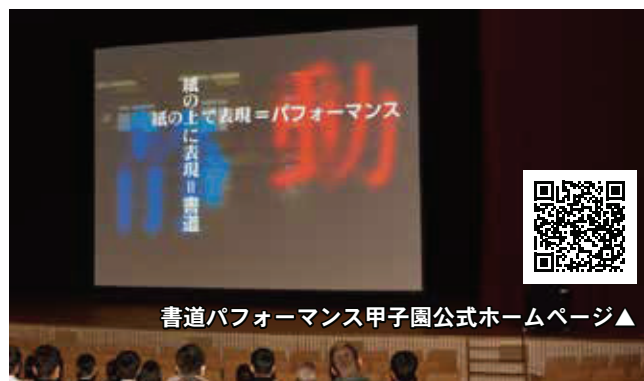
伊予三島ライオンズクラブが 寄付金及び物品を寄贈



伊予三島ライオンズクラブ（森実泰三会長）から、結成60周年に際し、子育て支援及び発達支援事業の推進のため、寄付金や知能検査セットなどが寄贈されました。この寄付金及び寄付物品は市内11の保育園、太陽の家、子ども若者発達支援センターで活用されます。

12/1

書道パフォーマンス甲子園 PR 動画上映会



しこちゅ〜ホールで開催され、観覧者は大スクリーンの迫力と臨場感あふれるサウンドのもと、美しい映像や選手たちのひたむきな姿に引き込まれるように見入っていました。このPR動画は、書道パフォーマンス甲子園公式ホームページなどで公開されています。

12/4

第18回四国中央市駅伝競走大会



川之江町の浜公園周辺で開催されました。感染症拡大防止の観点から、1団体からのエントリーは1チームのみの制限が設けられる中、7部門に62チームが参加し、出場者は、沿道からの温かい声援を受けながら力強く走り抜き、懸命にたすきをつなぎました。

12/9

秋季善行表彰受賞者が市長を表敬訪問



善行活動が評価された受賞者が市長を表敬訪問しました。団体では金生川ラバーズ（公共生活への貢献）、松柏婦人会（公共生活への貢献）、関川ボランティアコスモス会（社会福祉）が、個人では中川晴太さん（青少年指導）、森川晴利さん（事故防止）が受賞されました。



まちの話題をお届けします！

しこすゅ〜通信



12/7

ノーベル賞授賞式 本市出身の真鍋淑郎博士にメダル



2021年のノーベル物理学賞に選ばれた本市出身の真鍋淑郎博士に対して、日本時間12/7（火）午前、アメリカの首都ワシントンでメダルと賞状が贈られました。真鍋博士の出身地、新宮町の「霧の森」では、午前5時から新宮町の住民の方など約50名が集まって、インターネットでライブ配信される授賞式の様子を息をのんで見守り、真鍋博士がメダルを受け取ると、会場は大きな拍手に包まれました。

また、市内では真鍋博士の受賞を知らせる懸垂幕の掲揚や記念パネル展の実施に始まり、受賞を祝う花火の打ち上げやお祝い特別給食など、多くの祝意行事が行われ、市民が一丸となって、真鍋博士の偉業をたたえました。



市長の
ひとりごと



四国中央市長
篠原 実

今年もみんな、がんばろう!!

年が明け、去年のお正月はこんなこと思っていた
なと、遠い昔を思い出すように、さまざまなことが
ごちゃごちゃと駆け巡る。

すごく毎日が愛おしく思える時がある。

仕事部屋から見える風景はすごくいい。大きな船
が行きかうくらいで、何も変わらない。しなければ
ならない仕事のごちゃごちゃ、遠景の中に埋没して
いる。静寂と雑踏が頭脳の中で喧嘩している。踏み
越えて行かなければならないことがぎっしりある。

今年もそう思いながら、一刻一刻、毎日毎日、心
臓の音を確認しつつ、がんばるしかないのかなと観
念している。

裏も表もない、今日一日元気であることに感謝し
よう。ふとんから必ず顔を出して、今朝の空気、今
日の風を実感して起きだしていくのだ。

机の上に一個ある生姜飴を口の中に放り込んだ。
確かに生姜の味がする、甘い。普通のお茶が渋く思
える。とりあえず今日のエネルギーを充填して、靴
を履いて、出発するのだ。

真っ白な心で今年も今日も勝負だ！なんて肩に力
を入れ過ぎないようにしよう。

